



ロータリー：変化をもたらす

RI 会長

イアン H.S. ライズリー

新潟南ロータリークラブ

- 例会場 / 新潟市中央区川端町 6 丁目 53 ホテルオークラ新潟 TEL 025-224-6111
- 事務所 / 新潟市中央区西堀前通 6-905 第二西堀ビル 5 F
TEL 025-222-5050 FAX 025-222-5051 e-mail niigataminamirc@wine.ocn.ne.jp
- 例会日 / 水曜日 12 時 30 分
- 会長 / 富山 修一 幹事 / 田村 淑文 会報・雑誌委員長 / 西脇 郁夫

WEEKLY REPORT

No.2841 2018.01.31 wed

ロータリーソング ①「四つのテスト」 ②「ROTARY」

また豆は年の数あるいはプラス1個食べるようにしましょう。

1) 富山 修一 会長挨拶



2月3日は節分です。その起源は季節の変わり目には邪気（鬼）が生ずると考えられており、それを追い払う儀式です。元々、宮中の年中行事で「追儺」とも言われていました。旧暦の12月30日（大みそか）に平安時代から行われていた鬼払いの儀式で、それが庶民に受け入れられて広まりました。各家庭では柀に鯛の頭を刺して鬼が来るのを避けたり、地域では寺社で豆まきをするようになりました。

豆まきは宇多天皇の時代に鞍馬山の鬼が都を荒らすので、祈祷をして三石三升の豆をまいて鬼の目を潰して追い払ったのが始まりです。ただ穀物には生命力が宿り芽を出しますので、豆は必ず炒って芽が出ないようにしてからまきます。その為、お祓いをした煎り豆を使うようになりました。理由は旧年の厄災を追っ払って払い捨てるので芽が出ては不都合だからです。

また鬼を祭神または神の使いとしている神社、寺社では「鬼は外」ではなく「鬼も内（鬼は内）」としている所があります。例えば奈良の金峯山寺は役行者（えんのぎょうじゃ）が鬼を改心させ弟子にしたので「鬼は内」ですし、山形市の鳥海月山両所宮でも鬼の字が姓に含まれる世帯が多くあることから「鬼も内」としています。

近年ではスーパーで豆・ます・鬼の面がセット売られており、お父さんが鬼の面をかぶり、子供達がぶつけていますが、本来は家長或いは年男が豆をまくのが正式ですので、お父さんの権威を保って豆まきをしましょう。

2) 今週の花：「黄房水仙」花言葉：「清浄・高潔」

3) 委員会報告

- ・ロータリー財団委員会（服部 正 委員長）



五十嵐大吾 君	\$ 20	(\$ 3,890)
斎藤 秀明 君	\$ 50	ポリオ \$ 10 (\$ 2,590)
角南 邦彦 君	\$ 100	(\$ 11,512)

- ・米山奨学委員会（五十嵐 大吾 委員長）



五十嵐大吾 君	¥2,000	(¥159,000)
中川 宏紀 君	¥5,000	(¥45,000)
角南 邦彦 君	¥10,000	(¥834,000)
富山 修一 君	¥2,000	(¥233,000)

・第2560地区青少年奉仕委員会ローターアクト委員会
(本間 長市 委員長)



3月3日に燕三条のワシントンホテルにおいて、ローターアクト地区大会が開催されます。講演はスノーピークの山井社長です。南ロータリークラブの皆様もぜひご参加ください。なお、登録料は12,000円です。

会員数	算定対象者	出席者	出席率
105	104	87	83.65

4) 幹事報告
(田村 淑文 幹事)



- ・4月7日に新潟東RCの60周年記念式典があります。案内がきていますので一両日中にみなさんに通知します。なお、15名以上の参加をお願いしたいとのことで、積極的な登録をお願いします。
- ・2/1より円ドルレート変更します。1\$→110円となります。
- ・お手元に「抜粋のつづり その七十七」をお配りしました。編者の熊平雅人氏は東京RCの会員で全国のRCへ配布しています。全部で45万部だそうです。

《委員会スピーチ》

「職業奉仕について」 職業奉仕委員長 山田 雄治さん

「ロータリーの目的」の第二項に、「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値のあるものと認識し、社会に奉仕する機会として、ロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」とあります。

ロータリーがロータリーたる所以は「職業奉仕の実践」です。この「職業奉仕」、「職業」とはお金を儲ける手段であり、自分のためにすることです。一方「奉仕」は、世のため人のためにすることで正反対のようですが、職業と奉仕が全く別の世界に存在するのではなく、職業を通じて奉仕をしていくというのがロータリーの考え方です。

「職業分類」の規定でロータリアンはロータリーにおける各職業を代表する一方で、各業界も代表しているということです。ロータリーの精神を自分たちの業界に広めていくために、ロータリアンは職業の代表として、自分の周りを良くしていきましょうということです。職場で高い倫理基準を推進するためということで、授業や専門職のリーダーであるロータリアンは、従業員、同僚、そして地域や社会全体に対して模範を示し、高い倫理基準を推進することが出来る立場にあります。

「ロータリアンの行動規範」には、「1.個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。2.取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。3.自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。4.ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。」とあります。お金だけ儲ければいいのではなく、コンプライアンスを守って適正な利潤を得ればい

いのかと思います。それが信用につながるという考え方が「職業奉仕」なのでしょう。一人ひとりが、クラブ、組織とは関係なしに、自分の心で取り組んで行く、これがロータリー運動の社会的な特質ではないでしょうか。

ロータリー運動は倫理運動であり、クラブは人の心を尊重する優れた精神的保持を目的として追求する団体ですから、倫理を提唱していくためには、ロータリアン自身が心を磨かなければならないでしょう。その為、週に1度例会に出席し親睦を重ね、ロータリアンたちの良質な言動に接して自己改善を重ね、奉仕の心を醸成し実践するように自己研鑽をする。その場が例会です。私自身もこうやって素晴らしい人たちに会うことで自分のエネルギーになっています。

ロータリアンが倫理的行動を測る上での重要な物差しとして用いられてきた「四つのテスト」に照らし合わせて行動していくこと、それがロータリーの「職業奉仕」になるのではないかと思います。

大雑把な説明ですが、この度は皆さんの前で話す機会をいただきました。ありがとうございました。

